

キャラクター名
ジャギ

— プレイヤー名 —————

種族	ルーンフォーク	種族特徴	暗視、HP変換		
生まれ	射手	性別	オトコ(オカマ)	年齢	起動年数不明
冒險者Lv	5	経歴	記憶が無い		
経験点	-6500		奇妙な予言をされたことがある		
			家族に異種族がいる		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	12	器用度	7	2	2	21 + 2	3
		敏捷度	4			16	2
体	8	筋力	6			14	2
		生命力	6	1		15	2
心	6	知力	7	1	1	14 + 1	2
		精神力	6			12	2

技能	Lv.	技能	Lv.
シューター	5		
マギック	3		
エンハンサー	1		

戦闘特技

練技/呪歌/騎芸/賦術

技能	技能 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	5	8	7	7

鎧と盾	ソフトレザー	必要			
		ランク	筋力	回避力	防護点
鎧					3
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能		合計値	0		3

	装備品	説明
頭	仮面(フルフェイスヘルメット)	
耳		
顔		
首	幸運のお守り	アハハ、大きい…彗星かな？
背中	バレットポーチ	弾丸 2 4
右手	宗匠の腕輪	ジヨインジヨイン
腰	マギスフィア(中)	俺の名を…
足		
その他	マギスフィア(小)	言ってみろお…！

—その他メモ—
ルーンフォークの自称絶世の美女(性別♂)スリーサイズは113・91・105

アタシは世紀末ルーンフォーカマギテックシューター、ジャギ。モヒカン達と遊園地(集落)に遊びに行って(虐殺や強奪)、青髪の男の脱衣麻雀を目撃した。男たちの裸体を見るのに夢中になっていたアタシは、背後から近付いて来る、もう一人の仲間(ト主)に気付かなかつた。

と口占した。一方たちの保育を見守るのに忙になっていたアントンは、背後がアタシはその男にテレッテされて、目が覚めたら…記憶が無くなってしまってヒトカラキモトが何考かを思い出すために、動こうとするが体が動かない

「許せ弟よ…これが貴様のためなのだ——ぜんぶアミバのせいだから、僕悪くないから。」
「と、一人の白い装束をまとった顔の見えない男が、アタシにこう語りかけた…
「どうぞアミバのせいだといふがいい。」

アタシはその言葉に従って、謎のオトコ「アミバ」をとっちめるために動機械になつてお仕は同じ！迷宮入りした数卅主！真実は、いつか一つ！

自動失敗
チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑯
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉞

キャラクター名
ジャギ

— プレイヤー名 —————